

■第 2 回神奈川県糖尿病協会友の会会長会議事録■

1. 日時

平成 26 年 9 月 27 日（土）10：00～11：30

2. 場所

かながわ県民センター 711 号室

3. 出席者

・平成 26 年度よりコメディカルも参加することになった。参加者は 18 名で、以下の通りです（順不同、敬称略）。

出席者氏名	病院名	患者会名	役割
志波郁子（会長/栄養士部会副会長）	済生会横浜市南部病院	ひまわり会	会長/管理栄養士
坂本次男（副会長）	日本鋼管病院	ツツジ会、	会長
石井洋子（副会長/栄養士部会会長）	伊勢原協同病院、	ききょう会	会長/管理栄養士
外岡幸吉（書記）、	横須賀共済病院	糖尿病友の会	会長
宮本尚明	平塚共済病院、	平塚糖友会	会長
須貝元	藤沢市民病院、	湘南会	副会長
黒田守征	横浜市大センター病院	さえずり会	会長
坂元良江	平沼クリニック	平成会	会長
山口清	北里大学病院	さがみ会	副会長
紺野清人	総合新川崎病院	いちょう会	会長/事務局
常磐千鶴子	（スタッフの会）	睦月会	管理栄養士
田中理恵	横浜ビジネスパーク	糖友会	会長
高山将	横浜南共済病院	夕照会	会長
矢ヶ崎栄作	横浜医療センター	戸塚さくら会	管理栄養士
中村澄子	大迫内科クリニック	たちばな会	管理栄養士
長谷川了治	おばな内科クリニック	糖友会	会長
豊田恭平、	相模原協同病院	あじさい会	会長
遠藤奏子	小田原市立病院	こゆるぎ会	管理栄養士

4. 出席者の自己紹介

・全員自己紹介と共に、それぞれの患者会の年間活動の概要等について紹介した。今後、各患者会の紹介を作成するためのたたき台として、石井副会長に概要の作成を依頼しました。聞き漏らしがあり、概要が記入できなかった会や内容が不十分な点が多々あると思いますが、ご了承下さい。

患者会名	概要
ひまわり会	会長以下役員は全て病院スタッフにより運営。総会、勉強会、食事会等を実施。
ツツジ会、	会長が積極的に活動を行っている。毎年 HbA1c 6 %以下の患者を表彰している。
ききょう会	総会、日帰り旅行などを実施。病院が移転し、東海大学病院と近くなったこともあり、一緒に活動をしている。
糖尿病友の会	外部より約 700kcal の松花堂弁当をとり、それぞれ自分のエネルギー量に見合った量を選択することを行う勉強会を毎年実施している（講演会 2 種類を含め 4 時間の勉強会）

平塚糖友会	(会長は神奈川県糖尿病協会の幹事を兼務)
湘南会	会長は健康状態が不良で、副会長が会を運営している。 藤沢市民病院が中心となり近隣の開業医さんの友の会と一緒に活動している。 8月号の「さかえ」に須貝さんの文章が掲載されているので見ていただきたい。
さえずり会	(会長は神奈川県糖尿病協会の理事を兼務)
平成会	過去にはそば打ちの料理教室を開催。企画はすべて会長が行っている。
さがみ会	会長が都合で参加できないため、副会長が出席。
いちよう会	病院主催で、毎月会報を発行し、料理教室を行い、約10人/回が参加している。費用は1000円。
睦月会	栄養士等のコメディカルの会で定期的に調理実習会を開催し
糖友会(横浜ビジネスパーク)	現在会員29名 なかなかスタッフの協力が得られない。勉強会を3回/年実施している
夕照会	(会長は神奈川県糖尿病協会の理事を兼務)
戸塚さくら会	会員は10名。年3会の活動。
たちばな会	初めての参加。他の会の活動を知りたい。
糖友会(おばな内科クリニック)	クリニックのため栄養士がいない。クリニックとしての活動が難しい。開業医の友の会がどのような活動をしているかを知りたい。
あじさい会	会員30名、院長先生が一生懸命バックアップしてくれている。会長に感謝状なども出してくれている。
こゆるぎ会	3回/年試食会を開催している

5. 議事

(1) 神奈川県糖尿病協会患者会会長会の名称変更

神奈川県糖尿病協会患者会会長会の名称が患者会会長会では呼びにくく、わかりにくいとの指摘があり「神奈川県糖尿病協会友の会会長会」に変更となった。

(2) 神奈川県糖尿病協会友の会会長会の会則の作成

坂本副会長が作成した原案をもとに、外岡書記が神奈川県糖尿病協会会則、神奈川県糖尿病協会栄養士部会会則等を参考にして来年9月までに作成する。

(3) 患者会のあり方について

i) 患者会の会報等が紹介され、概要説明が行われた。概要は以下の通りです。

患者会名	会報名	概要
日本鋼管病院ツツジ会	ツツジ会	会長が作成。歩こう会の時にも別途作成している。
藤沢市民病院湘南会	湘南会	副会長が作成。
北里大学病院さがみ会	さがみ会ミニ会報誌	会長が作成
総合病院新川橋病院 いちようの会	いちようの会	病院スタッフが毎月作成している。
横須賀共済病院 糖尿病友の会	平成 26 年度事業計画書	友の会総会の開催が困難なため、拡大理事会用資料として作成。
平沼クリニック平成会		会報は4回/年発行している
済生会横浜市南部病院 ひまわり会	ひまわり新聞	看護師が3~4回/年作成している。

ii) 患者会のあり方、提言等に直接関する意見はなく、それぞれの患者会の情報提供が行われた(4. 出席者の自己紹介を参照)。主な共通意見は以下の通りです。

- ・入会者が少ない。会員を増やす方法の検討が必要。
- ・病院の協力を得て、友の会を運営しているところが多い
- ・食事会を病院スタッフと会員が料理して実施している。食事会を病院で行うのは大変なので、病院外の食堂で実施しているところ多い。
- ・会員が高齢化しているため、調理への参加が難しくなっている。

6. その他

- i) 坂本副会長（神奈川県糖尿病協会副会長を兼務）より以下の報告があった。
 - ・ 6月に開催された「神奈川県糖尿病協会 2014 年度研修会」の報告（写真付き）が、神奈川県糖尿病協会のホームページに掲載されている。神奈川県糖尿病協会のホームページを定期的に見て、活用してほしい。
 - ・ 10月の「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー」、11月の「糖尿病シンポジウム in 神奈川」への積極的な参加の呼びかけをお願いしたい。
- ii) 今年度より神奈川県糖尿病協会の会計方針により、出席者に交通費や食事提供ができなくなった。このため、代わりに、飲み物と0kcalのゼリーを提供した。

7. 次回の予定

未定（後日連絡）

以上